

9月10日～11日の本会議では、13名の議員が市政全般に関する一般質問を行いました。質問と答弁の主な内容を紹介します。(発言順に掲載)  
※ QRコードを読み取ると、録画映像をご覧くださいことができます。



**田井 真一 議員**  
(改革未来・自民の風)



## 今の公益通報処理体制で、適切な運用ができるのか ～ 兵庫県の轍を踏まないために ～

### 実効性ある通報受付窓口

**問** 現行の窓口担当者に対して、適切な対応に向けた教育や研修は行われているのか。また、組織内部の窓口に通報することをためらう者にとって相談しやすい環境を整えるため、外部弁護士を窓口相談員に追加してはどうか。

**答** 相談員に対する研修を早急に実施します。外部弁護士を相談員に充てることについては、先進事例を調査研究します。なお、顧問弁護士においても適切な相談が可能かと考えています。

### 市長から独立した公益通報処理責任者と処理体制

**問** 公益通報処理責任者を定めるとともに、処理責任者及び処理委員会については、市長からの独立性を確保すべきである。兵庫県の事例のように、通報の対象となっている首長が調査に直接関与することは、避けるべきである。市長のお考えは。

**答** (市長) 市長から独立することは、非常に重要です。公益通報処理責任者は、総務部長が適任であると考えます。現在は、副市長と部長級で構成される公益通報処理委員会において調査を行い、市長が直接審議に参加できない体制となっており、独立性は確保できていると思っています。

### 通報者を守らなかった者には懲戒処分を

**問** 通報者を保護することが大切である。通報者への不利益な取扱いや通報者探しの行為は法律で禁止されており、それらの行為を行った者を懲戒処分すべきである。そのことを全職員に周知することにより、違反行為を抑止する効果が高まるのではないかと。

**答** 通報者探しなど公益通報者保護法に違反した者は懲戒処分の対象となることを、「加西市職員の懲戒処分に関する指針」に定める非違行為の標準例に加える等、明示することにより違反行為の防止を図りたいと考えます。

### ■その他の質問項目

- ・この新病院の基本方針(案)で、どのように魅力ある病院をつくっていくのか



**西脇 親 議員**  
(改革未来・自民の風)



## 子育て応援 5つの無料化と教育改革 ② (幼児教育)

### 子育て後もずっと住みたいまちづくりを

**問** ゼロ歳から2歳児の入園希望者が増加している中、入園を決定する最優先基準は。

**答** 保護者の就労の日数や時間等の条件を基に入園者を決定しており、あくまでも就労時間、妊娠、出産、疾病、障がい、求職活動等、保育に欠ける状況により判断しています。現状では、これまで加西市に長く居住していることは考慮していません。

**問** 保育料の無料化が継続されることは保護者の経済負担の軽減につながり、非常にありが

たいが、独自財源を伴う。ゼロ歳から2歳児を受け入れる場合、保育料の無料化に伴う市の負担は。

**答** 令和5年度決算において、ゼロ歳から2歳児の保育料無償化を実施しなかった場合、保育料の総額は1億1,900万円と試算しており、この保育料を市が負担しています。ゼロ歳から2歳の園児数440名で単純平均すると、1人当たり年額27万円、月額2万2,000円になります。

**問** 保育料の無料化を所得に応じた助成・補助とし、浮いた財源を他の施策に回し、現役世代の負担軽減もしてほしいという若者の声も聞かれます。市の考えは。

**答** 教育委員会としては、子育て応援5つの無料化は引き続き実施したいと考えています。

5つの無料化に魅力を感じて加西市に移住された方が、引き続き加西市に住み続けたいと言われるまちづくり、学校教育を目指したいと考えます。

**問** 統廃合後に残された旧幼稚園、保育園の利活用の現状と今後の方針は。

**答** 学童保育園として活用しているほか、ふるさと創造会議の拠点、福祉団体の事務所として地域へ譲渡したものがありません。その他の老朽した園舎は、既に取り壊しています。跡地は普通財産に移管し、売却等となるので地域で活用を検討していただければと考えています。

### ■その他の質問項目

- ・高齢者、障がい者等の安全と安心に向けて